

基本情報

活動名： こどもフタッフ食堂（夏休み期間中の昼食提供）
 開設日： 2022年8月1日~25日までの月・水・金（15日を除く）10回
 場所： ゆいま〜るの家（浅香会館別館） 住所： 大阪市住吉区浅香2-2-57
 時間： 11:00~14:00
 利用料： 0円 料金対象： おとな：300円
 協力： こどもスタッフ（地域の小学生6名 大学生ボランティア3名）

児童

8月	小学生 低学年	小学生 高学年	合計	未就学 児	中学生	高校生	合計	おとな	総合計	<食事の提供>
1日(月)	9	7	16	2	2		4	2	22	拠点で調理→ 二次調理 配食サービス利用→ なし
3日(水)	8	6	14		1		1	2	17	
5日(金)	6	6	12	2	2		4	2	18	提供対象 提供頻度
8日(月)	9	6	15	2	1		3	4	22	デザート 全員 毎回
10日(水)	9	7	16	1	1		2	6	24	おやつ 全員 毎週金曜日
12日(金)	7	5	12	4			4	4	20	
17日(水)	5	5	10	2			2	4	16	
19日(金)	12	7	19	2	2		4	9	32	提供内容 ●ハンバーグ定食 ・ハンバーグ・サラダ・一品・ライス・スープ ●牛丼定食 ・牛丼 ・サラダ ・スープ ●カレーライス ・カレーライス ・サラダ ●和食定食 ・四種類のおかず ・ライス ・サラダ・スープ ○単品追加： 目玉焼き・ソーセージ・チーズ・ハンバーグ等
22日(月)	7	6	13	2			2	2	17	
24日(水)	11	5	16	5	3		8	5	29	
利用者 合計人数	83	60	143	22	12	0	34	40	217	
1日あたり 平均利用者	8.3	6	14.3	2.2	1.2	0	3.4	4	21.7	

<提供プログラム、サービス>※自由記述

当初は、大人スタッフによる昼食提供を予定していたが、子どもたちから「私たち手伝いたい」との声がよせられる。子どもたちとスタッフ会議を行い、お客様の迎え入れ、名簿の記入、検温・手洗・座席までの誘導、オーダー、盛付け、片付け等のすべての運営を子どもたちだけでやれるとのことで、大人はその後方支援を行うことと決める。夏休み期間中子どもたちへの昼食提供の名称を「こどもスタッフ食堂」と子どもたち自身が決め、スタッフTシャツ・エプロンをそろえる。毎回の開催前には、子どもたちによるミーティング（その日のメニュー確認・挨拶の練習等）を行う。

<児童、保護者、家庭の状況>※自由記述

こどもスタッフ食堂を利用する参加者は、普段活動に参加しない子どもたちが多く集まり、意義のある交流の場となった。こどもスタッフが友達を誘ったり、兄弟・友達どうしの参加が多く見られ通常の子どもの食堂よりも保護者同伴の参加も多く見られた。参加した子どもたちに、ふだん居場所に来ない内容を聞き取ると、そのほとんどが「夕方から習い事があるので来れない」との内容であり、一番習い事の多い子は5つの習い事をしているとの声も聞いた。今回のこどもスタッフ食堂に参加できたのは、習い事のない時間帯だからとの事である。それぞれの子どもたちは「時間が合うなら居場所の活動に来たい」との思いも聞き取れた。

活動写真

日本財団の広報で写真を使うことはできますか？

全て使用可（被写体全員に確認済み）



基本情報

活動名：農業体験キャンプ

開設日：2022年8月27日～28日（1泊2日）

場所：元気館・稲穂ハンザケ自然館・安田集落・上田所監察舎・はすみ交流センター等（島根県邑南町）

交通：大阪第一交通株式会社バス（参加者移動）・ハイエース（荷物運搬等）

参加者 こども9名

スタッフ 同行スタッフ5名（大阪）・現地スタッフ20名（邑南町）

抗原検査 あり（前日調査）

保険 大阪市社会福祉協議会 ボランティア市民活動保険加入

協力：農家の平川さん（元稲穂ハンザケ自然館館長）邑南町教育委員会 羽須美中学校教諭・OB

羽須美中学校生徒1年生 稲穂小学校教諭 稲穂ハンザケ自然館職員 その他地元の有志

行程表

8月27日	場 所	内 容	備 考
7:00	浅香会館	集合・出発	点呼 子ども9名 おとな5名
12:00	葛西サビュエリア	昼 食	
13:30	元気館	歓迎会	自己紹介（現地30分おくれで到着）
14:00	稲穂ハンザケ自然館	館内見学	生きているオオサンショウウオの鑑賞
15:00	田んぼ（安田集落）	稲刈り体験	平川さん・地元の農家さん指導
17:30	元気館	夕食	弁当
19:30	上田所観察舎	ハンザケ観察	終了時間22:00となる
22:30	はすみ交流センター	宿泊先	入浴・就寝
8月28日			
6:00	はすみ交流センター	起床・準備	ラジオ体操・朝食準備
7:00	平川さん宅	準備品積み込み	農作物の収穫・積み込み
8:00	口羽河川敷	川遊び	川遊び・五右衛門風呂体験
12:00	はすみ交流センター	昼 食	カレーライス・採れたて鮎の塩焼き
18:30	浅香会館	到着・解散	

<提供プログラム、サービス>※自由記述

食事は誰もがする行為ですから、その仕組みや重要性について農業体験は、子どもに知ってもらい良い教育になります。農業体験をすれば、普段の生活の中で食べているような食べ物がどのように作られているのかを実際に見ることができ、収穫をしてみて生産者の苦労や自然の尊さを学び、食べ物のありがたみに理解を深められ、食への関心が高まり、食べ物の好き嫌いが多い子どもでもきちんと食べるようにしようという気持ちを抱きます。

また、川遊びや自然とふれるといった普段できないような貴重な体験をすることで、さまざまなことに興味をもち、発想力を高めたり、集団行動を行うなかで協調性をもつ機会にもなります。

<児童、保護者、家庭の状況>※自由記述

農業手体験キャンプに参加した子どもたちは、親元を離れ都会では経験することがない多くの自然体験を目で観て、肌で感じ、友達と情報を共有し合うことでコミュニケーションを取り合い、確実に成長したことが感じとれた。

子どもたちからは、「もっと居たい」「来年もまた来る」「（収穫した）野菜がおいしい」「ぜんぶ楽しかった」などの多くの声を聞くことができ、翌日「帰りたくなかった」と泣き出す子どもまでもいた。

夏休み最後の貴重な思い出となり、今回の「農業体験キャンプ」で得られたメリットは数多くありました。

今回、①②母子家庭・外国にルーツをもつ子ども・発達障がい×2 ③母子家庭 ④母子家庭・母親精神障がい・愛着障がい ⑤母子家庭・生活保護世帯（普段から子どもと関わるスタッフの主観です）など、困難児童と言われる子どもの参加があったが、どの子どもも元気で素直であり、対人関係や社会性には、全く問題は見られなかった。

活動写真（1日目）

日本財団の広報で写真を使うことはできますか？

全て使用可（被写体全員に確認済み）



活動写真（2日目）

日本財団の広報で写真を使うことはできますか？

全て使用可（被写体全員に確認済み）



基本情報

活動名： あさかで祭り（子ども活動のパネル掲示・活動報告書の配付・募金活動・食品の販売・太鼓教室の演奏）
 開設日： 2022年10月9日（日）
 場所： 浅香中央公園プロムナード 住所： 大阪市住吉区浅香1-6
 時間： 11:00~14:00
 参加者 約500人（内、子ども約300人）
 出展者 小中学生ボランティア 16名 保護者等ボランティア 9名
 出演者 あさか太鼓教室 小中学生 10人

あさかで祭りプログラム

飲食店	福祉の店 わあくわあく浅香	売店営業・コロッセ等	ステージ	あさか太鼓教室の演奏
	よさみフェア・チルドレン	ローストビーフサンド・豚まん		浅香太鼓集団「獅子」演奏
	地活隊 チャレンジ会	肉吸い		クイズ大会
	青年部 やきそば会	フランクフルト		だれでもカラオケ
	はあとらんど浅香	パン・キーホルダー		ビンゴゲーム
	あゆみのひろば・コスモス	綿菓子・ヨーヨー釣り		
		おでん		
	HRDP（大阪公立大学学生）	ワッフル		
	障害者作業センター マイセル	唐揚げ		
バザー	よさみフェア・チルドレン	子ども活動パネル展示	よさみ 人権協会 出店内容	○よさみフェア・チルドレン
	浅香地区プロジェクト委員会	総合相談ブース		・ローストビーフサンド、豚まんの販売
	ひよこ作業所	くじ引き		・子ども活動パネル掲示
	よさみステーション	バザー		・活動報告書配付・募金活動
	あさか太鼓教室	くじ引き		○あゆみのひろば
				・綿菓子の販売
				○あさか太鼓教室
				・太鼓の演奏、くじ引き

<提供プログラム、サービス> ※自由記述

第19回あさかで祭りが10月9日（日）、浅香中央公園で開催された。コロナ禍で3年ぶりの祭り当日は雨予報であったが、開催時間は何とか持ちこたえバザー・ステージともに大きな賑わいに包まれた。
 あさかで祭りは、子どもから高齢者までが参加し、地域住民の交流・楽しむ場の提供を目的とした地域コミュニティ型イベントである。多くの参加者が集まる祭りで、よさみフェア・チルドレンの活動報告（パネル展示・活動報告書配布）とローストビーフサンド・豚まんの販売を行った。あゆみのひろば（子ども食堂）からは、綿菓子の販売を行い、お互い大変人気で完売しました。毎週月曜日に開催している「あさか太鼓教室」からは、子どもたちの太鼓練習の成果を披露し、演奏が終わると多くの拍手を頂けた。

<児童、保護者、家庭の状況> ※自由記述

よさみフェア・チルドレンでは、3名の保護者と4人の子どもの協力を得て活動報告の配布・募金・販売を行う。
 あゆみの広場では、地域出身の女性が中心に3名の協力を得て販売を行う。
 あさか太鼓教室では、地元の太鼓集団「獅子」の協力を得て演奏を行い、演奏後「くじ引き」による景品引換を行う。

活動写真

日本財団の広報で写真を使うことはできますか？

全て使用可（被写体全員に確認済み）



大阪市住吉区における子ども第三の居場所（活動別記録簿）

2023年3月報告

基本情報					
活動名：	学びスペース（学習支援・体験学習・食育）				
開設日：	2022年4月5日（火）～2023年3月28日（火） 毎週火曜日（全49回）				
場所：	浅香会館別館（ゆいま～るの家）	住所：	大阪市住吉区浅香2-2-57		
時間：	小学生の部：15：30～19：00				
	中学生の部：18：00～22：30				
登録数	小学生	23人	中学生	18人	※2023年3月7日現在
ボランティア	大学生	7人	その他	8人	

登録人数・参加人数

	参加人数		登録人数			開催数	参加平均	備考
	小学生	中学生		小学生	中学生			
4月	18人	13人	4月	12人	13人	4	7.8	2021年12月17日～2022年6月24日 新型コロナウイルス第6波
5月	26人	27人	5月	12人	13人	4	13.3	
6月	41人	36人	6月	14人	14人	4	19.3	2022年6月25日～9月25日 新型コロナウイルス第7波
7月	31人	21人	7月	14人	14人	4	13.0	
8月	26人	23人	8月	14人	15人	5	9.8	
9月	31人	30人	9月	14人	15人	4	15.3	
10月	36人	37人	10月	17人	17人	4	18.3	
11月	56人	45人	11月	17人	17人	5	20.2	
12月	44人	33人	12月	20人	18人	3	25.7	
1月	45人	32人	1月	20人	18人	4	19.3	小学校で相次ぐ学級閉鎖
2月	56人	37人	2月	23人	19人	4	23.3	
3月	36人	28人	3月	23人	19人	3	21.3	
延べ	446人	362人	登録人数 増加率	小学生	192%	48	17.2	
合計	808人			中学生	146%			

<提供プログラム、サービス> ※自由記述

- 学びスペース・学習支援の目的は、学習指導にとどまりません。集団で進められる学校の授業について行けず、しかも教師などおとなへ不信感が強い、そういう子どもたちが、学びスペースの大学生スタッフと繋がることで信頼を築き、もう一度自信を取り戻し、将来に希望を持てるようにかかわっています。
- 学びスペースの様々な体験学習を通じて、子どもの「やる気や生きがい」「思いやりや人間関係（構築）能力」といった、学力以外の「生きる力」を育みこで、思考力やコミュニケーション能力の育成にかかわっています。
- 学びスペースの食育では、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基本となり、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために、生活の基礎作りに役立つ、基本的な食事を学ぶ教育を取り入れた食事提供を行っています。

<児童、保護者、家庭の状況> ※自由記述

新型コロナウイルス感染拡大状況が落ち着いていく中で、子どもの登録人数も次第に増え始める。
 年度初めから小学生の部192%・中学生の部146%の増員となる。
 来年度は、中学生1名のみが卒業となるが、新小学1年生の登録の問合せが多く聞かれ、参加者人数が増えることが見込まれる。
 中学校を卒業した子どもたちを「地域に根差した人材育成」とし継続した取組みの構築が必要である。
 大学生ボランティア7名のうち、2名が卒業を迎え新たなスタッフの確保が必要である。
 本年度は、コロナの関係で思うように実施が出来なかったスタッフと保護者・保護者間での関係づくりを図り、おなじ子どもを持つ保護者として子ども活動に積極的に参加を促す

活動写真

日本財団の広報で写真を使うことはできますか？

全て使用可（被写体全員に確認済み）

